

たいせつなことは、たくさんあいすること

あなたがたのあいだでえらくなりたいものはみなにつかえるものになり
いちばんうえになりたいものは、すべてのひとのしもべにならなさい。
(マルコ 10,43-44)



フォコラーレ
focolare.org/japan



イエスのいきていたときも、うえにたつひとは、そんないざれたいせつなひととだとかんがえられていました。なぜなら、みなにしじをだして、つかえられていたからです。そのため、たくさんのひとがうえにたつ人のちかくにいいたいのです！



ヤコブとヨハネはイエスがてんにのぼるとき、イエスのみぎとひだりにいたいといいました。でたちはおこりました。イエスはてんのくにではうえにたちたいひとは、みなにつかえなければならぬといいました。



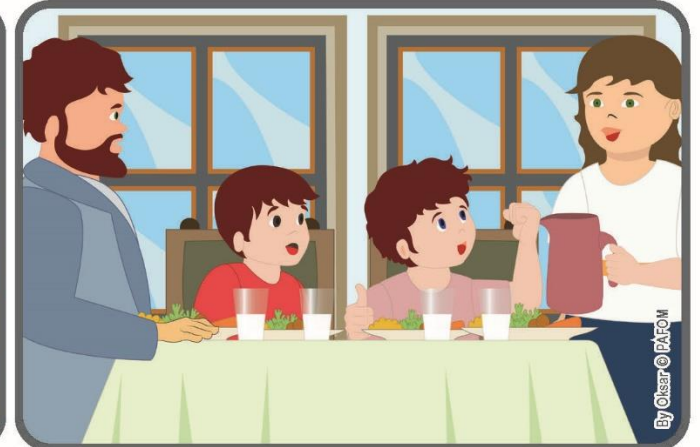
イエスはつかえるため、あいするためにきました。イエスはいきているあいだみなにつかえ、じゅうじかのうえでなくなるまでわたしたちをあいしました。あいしながらみなとうえにたつこと、いちばんであることをおしえてくれました！



きょうのごごはうれしかった。だってわたしのだいすきなテレビばんくみがあるから。わたしはテレビのまえにすわってじゅんびしてました。そしたら、おとうがきてチャンネルをかえようとしてました。



「だめだよ！ ぼくがさきにきてたから、おいちゃんだから。」でもおとうとをよろこばせるために、おとうとのすきなテレビをみることにしました。いっしょにみることをうれしくおもい、わるいぶんにかったようなきもちでした。



よるに、ママがいきました。「フィリップ、あしたあなたがすきなテレビをもういちどするんだって。」「やった！」ぼくは、イエスはまんとうにしんせつだなんておもいました。つぎのひ、ぼくはそのテレビをぜんぶ、しかもおとうといっしょに、みることができました。